

かながわ
伝統祭
能
かながわ
伝芸

民俗芸能

こども

かながわ

令和 元年度

11月4日祝
14:00開演

13:30開場
16:00終演予定

フェスティバル

とろび 2019

れとろび

[会場]
神奈川県立
青少年センター紅葉坂ホール
入場無料 事前申込が
必要です。

神奈川には「2種類」の
伝統的な人形芝居が伝わっています。
地域の「たから」の継承に取り組む
子どもたちの晴れ舞台
どうぞご覧あれ!

[申込方法]

次の①か②のいずれかの方法でお申込みください。

①神奈川県ホームページから申込
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/yi4/dentougeinou/retrobeat2019.html>

②往復はがきでの申込
往復はがきに「申込代表者の氏名」・「郵便番号」・「住所」・「電話番号」・「観覧
希望人数」(はがき1枚で5名まで)を明記し、「〒220-0044横浜市西区紅葉ケ
丘9-1 県立青少年センターホール運営課(れとろびと係)」まで。

申込期限 / 令和元年10月24日(木曜日) 必着

チームワークで人形にいのちを吹き込む三人遣い



小田原市立下中小学校
下中座クラブ(小田原市)



小田原市立橋中学校
相模人形クラブ(小田原市)



県立厚木東高等学校
人形浄瑠璃部(厚木市)



県立二宮高等学校
相模人形部(二宮町)

人形と遣い手の動きが一体となった一人遣い



県立茅ヶ崎高等学校
文楽部(茅ヶ崎市)



ひとみ座乙女文楽教室
修了生の会(川崎市)

解説

大谷津早苗
(昭和女子大学人間文化学部 歴史文化学科教授)

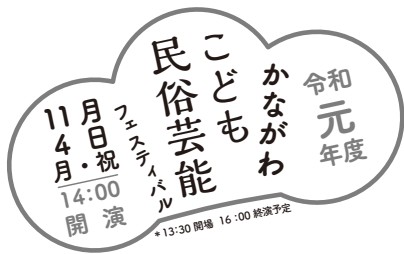
司会

船本由佳
(キャスター・ワークショップデザイナー)

主 催 / かながわ伝統芸能祭実行委員会
(事務局: 神奈川県文化課)
後 援 / 神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、川崎市教育委員会
助 成 / 一般財団法人地域創造



人形芝居に取り組み、子どもたちの晴れ舞台をこー覧あれ！



出演団体 *ねとろび* 2019

(50音順)

小田原市立下中小学校 下中座クラブ | 小田原市 |

三人遣い

相模人形芝居下中座(しもなかざ)は、江戸時代より小竹地区に伝わる三人遣いの人形座です。古くから「小竹(おだけ)の人形」と呼ばれて、地域の人々に愛されてきました。下中座は地元学校教育の場を中心とした後継者育成にも励んでおり、平成23年から下中小学校で下中座クラブ(授業でのクラブ活動)を指導しています。今回は『二人禿(ににんかむろ)』を上演します。難しい三人遣いに真剣に取り組む子どもたちの姿をご覧ください。

小田原市立橋中学校 相模人形クラブ | 小田原市 |

三人遣い

相模人形クラブは、平成14年11月に活動をスタートし、翌15年10月、橋中学校学習発表会で『怪童丸物語 足柄山の段』初公演を行いました。地元の相模人形芝居下中座がクラブを指導しています。私たちが呼吸を合わせ、顔の向きや手の動き、足の運びを合わせると、ものを言わない人形から、生き生きとした感情が伝わっていくのでとても不思議です。うまく操作できた時、私たちは日本の伝統文化の奥深さを実感します。

県立厚木東高等学校 人形浄瑠璃部 | 厚木市 |

三人遣い

厚木東高校人形浄瑠璃部は、昭和46年に同好会として発足、翌年に部活動に昇格しました。現在は、卒業生で構成されている「あつぎひがし座」の方々から指導を受けています。発表の場は、あつぎひがし座自主公演、文化祭、老人介護施設や福祉施設への慰問、近隣市町の教育委員会や社会福祉協議会などからの依頼による公演、高等学校文化連盟郷土芸能専門部での発表会などと幅広く、人形浄瑠璃の紹介、普及に努めています。また今年は、第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文に出場しています。

県立茅ヶ崎高等学校 文楽部 | 茅ヶ崎市 |

一人遣い

茅ヶ崎高校文楽部は、今年、創部61年になります。今も多くの方々に支えられ、その伝統を守っています。一人遣いの文楽を、より多くの人に知っていただけるように、地域のお祭りなどにも積極的に参加して公演を行っています。『寿式二人三番叟(ことぶきしききにんさんばそう)』は、穀物の豊作や国の平和を祈り、舞台を清める意味を込めて演じます。最初に出るクールな二枚目の「白の荘重」と、次にあわてて出てくる「赤の滑稽」との、対照的な二体の人形の動きや、一つひとつ意味の込められた所作をお楽しみ下さい。

県立二宮高等学校 相模人形部 | 二宮町 |

三人遣い

二宮高校は昭和53年に創立された全日制普通科の高校です。相模人形部は創立当初から続く人形浄瑠璃の部活動です。近くの小田原市小竹に伝わる人形芝居の一座「下中座」の指導を受け、伝統芸能を現代に伝えるべく部員たちは活動しています。今回の演目『怪童丸物語 下鴨神社の段』は、坂田公時の若い頃のお話です。『怪童丸物語』は、近松門左衛門作の『堀山姥(こもちやまんば)』を下敷きに、金太郎の少年時代を「足柄山の段」として小田原市立橋中学校が、青年時代を「下鴨神社の段」として、私たちが演じる創作人形浄瑠璃です。恋あり、冒険ありの親しみやすいストーリーになっています。

ひとみ座乙女文楽教室 修了生の会 | 川崎市 |

一人遣い

乙女文楽は、大正末から昭和の初めに、文楽の人形遣い五世桐竹門造らが考案して、大阪で誕生しました。神奈川県下には、乙女文楽誕生の頃から活躍した桐竹智恵子が、戦後茅ヶ崎市に転居したことで広まりました。ひとみ座乙女文楽は、人形劇団ひとみ座が、50年前に師事して以来伝承してきたものです。唯一職業劇団に継承する一座で、2018年川崎市地域文化財に認定されています。出演団体は、ひとみ座が地域の子どもたちに向けて2008年から開催している伝承教室の修了生たちの会です。参加資格は男女を問わず、年間を通して、地域イベント等に出演しています。

| 会場 |



神奈川県立青少年センター
紅葉坂ホール

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1

| アクセス |

- JR 根岸線「桜木町駅」北改札西口から徒歩 8 分
- 横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩 10 分
- 京浜急行線「日ノ出町駅」から徒歩 13 分
- みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩 20 分
- 横浜駅東口からバス「戸部 1 丁目」下車徒歩 2 分、または「紅葉坂」下車徒歩 4 分

| お問い合わせ先 |

神奈川県立青少年センターホール運営課
TEL.045-263-4475

